

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	人間福祉学部
大項目	7 国際交流
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 海外実習教育の実施とその指導体制を整備する。	→海外実習機関の指導者の意見に基づく評価、海外実習レポートの内容、海外実習報告の内容。	B	B	B		
2. 海外語学研修により、国際的なソーシャル・サービス領域、および起業するために必要な英語に関する語学力を修得させる。	→研修先のプログラムに基づく成績と修得単位。	B	B	A		
3. 学部内における語学を専門とする専任および非常勤講師を適切に配置する。	→言語専門教員（専任、非常勤）の配置数。	B	B	B		
4. 多文化共生論や国際問題論といった国際理解のための科目を維持、増加させ、内容を評価する。	→国際理解のための科目の開講と内容評価のアンケート実施。	B	B	B		
5. 課外での国際活動を推進する。	→学生参加の国際的イベント（SIFEなど）への参加者数。	B	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

## 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

★	目標1	海外実習教育のための説明会や報告会を適宜行うことで指導体制を整え、同教育を実施している。
	目標2	海外への派遣学生は相当数おり、概ね研修先のプログラムに基づく本学での単位修得もできている。
	目標3	学部内における語学を専門とする専任および非常勤講師を適切に配置している。
	目標4	国際理解のための科目は増加傾向にあるものの、その評価については詳細に検討していない。
	目標5	課外での国際活動の推進を行っている。
	備考	

## 《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【人間福祉学部】			単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	/	—	—	—	—	—	5/1現在	
指標2	国際交流協定締結国数		国	/	—	—	—	—	—	5/1現在	
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	/	—	—	—	—	/		
		外国人留学生	正規	人	/	8	13	17	26	39	・5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・累計数 ・交換は正規以外とする。
			交換	人	/	—	—	—	—	/	
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	/	2.5	2.1	1.7	2.0	2.9	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	/	0.0	0.0	0.0	0.0	/	
	その他(セミナー等による受け入れ)	人	/	—	—	—	—	/			
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	/	—	—	—	—	/	累計数	
		人数	長期	人	/	0	11	10	22	/	・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	/	0	10	9	13	/	・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	/	0.0	1.8	1.0	1.7	/	海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	/	0.0	1.6	0.9	1.0	/	
指標5	海外からの受け入れ教員数			/	0	0	0	0	/	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	/	1	1	0	0	/	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	/	43	55	71	41	/	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	/	—	0	0	1	/	・累計数 ・春・秋の合計	
指標8	外国人教員比率		%	/	/	9.8	9.5	9.3	4.8	・5/1現在	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)